



士別ロータリークラブ会報

創立 1960・3・24 RI第 2500 地区

Vol. 24 No. 2736

2020-2021年度国際ロータリーのテーマ

2020-2021年度R I 会長 ホルガー・クナーク

2020-2021年度R I 第2500地区テーマ

2020-2021年度R I 第2500地区ガバナー松田英郎

ランクアップしましょう



ロータリーは機会の扉を開く

2020-2021年度士別ロータリーのスローガン

新しい絆を築き新たな考動を!

- 会 長 / 志村 孝幸
- 副会長 / 菊地 昭通
- 幹 事 / 片庭 隆暁
- 例会場 / 士別グランドホテル
- 例会日 / 毎週月曜日 12:10~13:00
- 事務所 / 士別グランドホテル TEL0165-23-1234

R I ホームページ <https://www.rotary.org/ja>

2500地区ホームページ <http://rid2500.jp/>

士別RC <http://www.douhoku.jp/sibeturc/>

第2822回例会 2021年3月29日(月)

今日のプログラム

・夜間例会

前回(2021年3月22日)の記録・普通例会

司 会 大野裕一郎 会場監督
 齊 唱 奉仕の理想
 本日の出席 会員 47人中 出席者 33人 出席率 70.21%
 本日の欠席 江端健之、大橋直幸、尾崎学、加藤博、國森和磨、近藤峯世、鈴木勉
 但木行久、田中道也、日塔剛敏、深尾幸夫、前田孝幸、水田孝志、山下卓巳

メイクアップ

ビジター
ゲ ス ト

ニコニコBOX 井口裕史 (士別軌道創業100周年記念誌発行)

累計 211,000円

例会予定

■ 4月例会日[母子の健康月間]

- 4月 5日(月) 普通例会・理事会
- 4月12日(月) 普通例会
- 4月19日(月) 普通例会
- 4月26日(月) 夜間例会

■ 5月例会日[青少年奉仕月間]

- 5月 3日(月) 休会(法定休日・憲法記念日)
- 5月10日(月) 普通例会・理事会
- 5月17日(月) 普通例会
- 5月24日(月) 普通例会
- 5月31日(月) 夜間例会

■会務報告.....志村孝幸 会長

●今年の春は大雪から、やっと春らしい気候が続いておりましたが、昨日と今日は雪となり、朝晩の気温の変化が激しく、体調を崩しやすい時期でもありますので、気をつけて頂ければと思います。

また、1都3県では緊急事態宣言が解除されましたが、まだまだ新型コロナウイルス感染症に全国で多くの国民が感染しており、気の緩みから感染者が増加する事を掬っております。

これから益々気温が上がり外に出る機会が増えると思いますので、感染症対策をしっかりと頂ければと思います。

●春と言えば先週19日に新型コロナウイルス感染症で中止となっております第93回選抜高等学校野球大会が2年ぶりに開催されました。開会式は6校だけ、観客の上限は10,000人、伝令もマスク着用、応援も録音と感染症対策をしながらの開催です。

開会式直後の第一試合には北海道代表の北海高校が地元の神戸国際大学附属高校と対戦致しました。2017年の夏の大会では同じ対戦校と4対5の一点差で負けていることから今回はリベンジマッチでありましたが、残念ながら延長10回、2対3で敗戦となりました。両チームとも春の大会とは思えないほど攻守にわたり見応えのある素晴らしい試合を見せて頂きました。

北海道代表校には夏の大会に期待し、神戸国際大学附属高校には勝ち進む事を期待致します。

●昭和35年3月24日は当クラブの創立記念、同年5月12日にはR Iより承認をうけた日となっております。後ほど北村会員より創立に関わる卓話を頂くことになっておりますので、よろしくお願ひいたします。

■幹事報告.....片庭隆暁 幹事

1. 本日例会終了後、引き続きこの例会場にて、地区大会に関しての臨時理事会を行います。理事者はこの場に残って下さい。

2. 次回例会は、3月29日(月)夜間例会です。

■次年度幹事報告.....菊地仁 次年度幹事

4月11日(日)ZOOMにてウェブ開催されます次年度地区研修・協議会及び各分科会の案内が今月11日(木)に地区より送られて参りまして、17日(水)に締め切りという事でしたので、直ちに次年度役員や各委員長にFAX案内を出し、結果として全17名中14名の参加を頂く事となりました。参加者には後日ZOOMへのアクセス方法等連絡が地区より届きましたらご案内いたします。

又、研修会後の各分科会ですが、こちらにも既にご案内の通り第1～5分科会までは4月11日当日の午後1時から4時30分までの間ZOOMにて順次開催されますが、第6と第7分科会は翌日12(月)の午後6時から同じくZOOMにての開催となっております。尚、第6分科会の内容の一つにRLI(ロータリーリーダーシップ研究会)がございまして、これはロータリーに関するテーマに基づき、地区内のクラブから1名づつ計7名程がブレインストーミング方式でディスカッションを行うというものであります。

因みに第6分科会でこのRLIが2部行われるのですが、そのうちの一つに当クラブの近井会員が参加することとなっております。今回の地区研修協議会参加者ならどなたでもアクセスが可能となっておりますので、ご都合つきます該当メンバーに於いては一人でも多くアクセス頂ければと思うところであります。

●卓話(創立記念日に因んで)・・・北村浩史 会員

こんにちは。たまたま私の父が半世紀も前にロータリーの会員をしていた事で、何か思い出があれば創立記念

日に話して欲しいとの事で、卓話させていただきます。

ロータリーでの父の思いでといえば、例会日になれば「今日はロータリーの日だ」といって朝、会社に出かけて行ったのと、「ロータリーは一業種一人しか入会できないんだ」とよく話していたことです。あたかもこれが加入するための厳しい条件のように主張していました。今思えば、新聞社なんて市内に1社しかないんだから、すぐにでも入会できそうなものなのに、そうは問屋が下さなかったのは、当時の新聞の記事の内容が当時の時世とはいえ、お決まりの政治や事件事故の他にも自殺やら不倫やら家出やらの個人情報もろ晒し状態が、周囲の人たちを警戒させていたのかもしれない。

今回、このような機会を与えられたので創立60周年の初期について調べてみようと思ったんですが、すでに先輩会員から過去に何度も言及されており、正直、ネタ切れ状態で困ってしまいました。

わが社の昭和30年代の古い新聞をあさってみました。当時のことは当クラブの20周年記念誌にも詳しく記されており、うーん、困った、話すこと何もないぞと頭を抱えたのですが、かろうじて発足以前の余談のような記事があったので紹介してみたいと思います。

ご存知のように士別ロータリークラブが発足したのは昭和35年3月です。25人でスタートしました。

発会式を終えたその1年後の昭和36年6月22日にチャーターナイト(認証伝達式)が行われました。発会式については新聞では報じられていませんでしたが、式典に向けて準備に追われる会員たちの様子は紹介されていきました。この記事についてはまもなく発刊予定の60周年記念誌に掲載しましたので、関心のある人は目を通していただければと思います。実はこの伝達式に先立つ6月上旬に東京で行われたロータリーの国際大会に士別から14人も会員が参加しており、その様子も報じられていました。

余談になりますが、昭和30年代といえば士別も感染が続く小児麻痺の防疫に苦しんでいました。昭和35年には市内で60人近い感染者が発生しました。昭和36年、士別ロータリーが認証の伝達を受けた年に、士別では7月に小児麻痺防疫対策本部が設置され、ポリオの生ワクチン投与のために医師20人、保健師28人が動員されました。この当時の動員数は現在の新型コロナウイルス接種の医療従事者確保に悩まされている現在の士別市の状況を鑑みても、かなりの切迫感が伝わってきます。

ポリオ撲滅といえば、やはりロータリークラブですが、この活動への取り組みが始まったのは1979年(昭和59年)です。プロジェクトが始まり、フィリピンに60万人に対してワクチンの購入・運搬が行われたそうです。これが発展してポリオ・プラスが始まったのは1985年です。

今回、創立記念日の調べものをしていて、士別がポリオで苦しんでいた時にはまだロータリーは、この撲滅に向けての運動を展開していなかったことがわかりました。ロータリー財団のプログラムには必ずポリオ・プログラムが盛り込まれているので、ポリオ防疫に苦しむ当時の士別とロータリーとの接点はあるのかと思いましたが、どうやらそのようなことないみたいです。

日頃はまったくといって良いほどロータリーのことを勉強せず、今でも無知な状態が続いていますが、今回、誕生期のロータリーのことやポリオと士別ロータリーの関係まで知ることができました。このような機会を与えていただいたクラブや関係者の方に感謝申し上げます。